



志清同友会
ふくはら としひろ
福原 敏弘 議員

令和4年度予算編成について

問 予算編成や予算の執行により、市が掲げる令和4年度の重点施策等において、コロナ禍の中でも、どこに重点を置こうとしているのかが予算に現れると思うが、令和4年度歳出予算編成はどのように考えたのか。

答 令和4年度当初予算の歳出においては、「育てやすい暮らしやすいまちづくり」など7つのテーマを重点施策として予算配分を行い、重点施策の新規拡大事業には、約13.5億円の予算を計上するなど、鯖江市が目指す将来像、笑顔があふれる「めがねのまちさばえ」の実現に向けた前向きな予算内容とした。また、新型コロナウイルス

感染症の拡大状況によっては、執行が困難な事業も生じることは否めないため、当初予算編成時には、事業所管課において、コロナ禍でも実現可能なように、リモートでの開催や動画の公開など新しい手法を取り入れ、工夫を凝らした事業内容としており、状況に合わせた事業の適正な執行に心がけていきたい。

その他の質問

○令和4年度歳入予算について

○地方債計画について



目指す将来像に向けて



志清同友会
はやしした とよひこ
林下 豊彦 議員

公共施設等総合管理計画について

問 公共施設等の長寿命化や複合化についての今後の取組は。

答 市内の公共施設の60%以上が築30年以上経過している中、人口減少による税収減、少子高齢化に伴う義務的経費の増加など、財政への負担増も考え、建物施設の複合化と長寿命化を進めるとともに、床面積で約20%の削減を考えている。

問 神明地区の認定こども園や全天候型の子どもの遊び場整備事業について、神明苑の今後の利用と絡めてはどうか。

答 子どもの遊び場整備事業や神明苑の在り方については、市民の意見をいただきながら協議し、検討していきたい。

映画『おしよりん』について

問 「めがねのまちさばえ」として、どのような支援をするのか。

答 福井県眼鏡協会の映画制作支援に対する予算計上や制作スタッフが必要とする物品の準備などの側面支援を行っている。また、映画に登場する本市ゆかりの人・物・事にスポットを当てた情報発信により、市民の映画への興味を促すなど、機運の盛り上げにも努めるとともに、県内外に対し、眼鏡産地の鯖江のイメージアップに向けて取り組んでいく。



志清同友会
はやし たいき
林 太樹 議員

「第2期鯖江市まち・ひと・しごと創生総合戦略」について

問 将来の人口ビジョンの数値目標達成のための課題と政策方針は。

答 市長 本市でも少子高齢化が進行し、人口の自然減が続くことで、人口の減少数も増加傾向にある。結婚から出産、子育てまで安心できる働きやすい環境を整えるとともに、若者に「住みたくなる、住み続けたいまち」「選ばれるまち」を目指す。

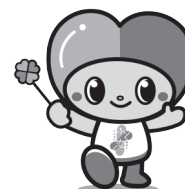
問 鯖江市人口ビジョンにおける2060年推計人口約6万4千人は達成可能なのか。

答 コロナ禍での出生数は、令和2年は537人、3年は545人で、出産数の将来推計目標平均値の620人には程遠い。大学生

等のUターンや子育て世帯の流入促進等の施策を展開し、人口減少の抑制に努める。

問 合計特殊出生率を引き上げるための未婚・晩婚対策は。

答 令和2年11月に、ふくい結婚応援協議会がふくい婚活サポートセンターを開設し、マッチングシステムを活用した出会いの機会提供に取り組んでいる。本市は約100人が登録し、お見合いや交際の成立、成婚実績も報告されている。県と連携し、広域的かつ総合的な対策を実施していきたい。



ふくい婚活サポートセンター
マスコットキャラクター「ふく恋」